

北海道総合計画の指標について

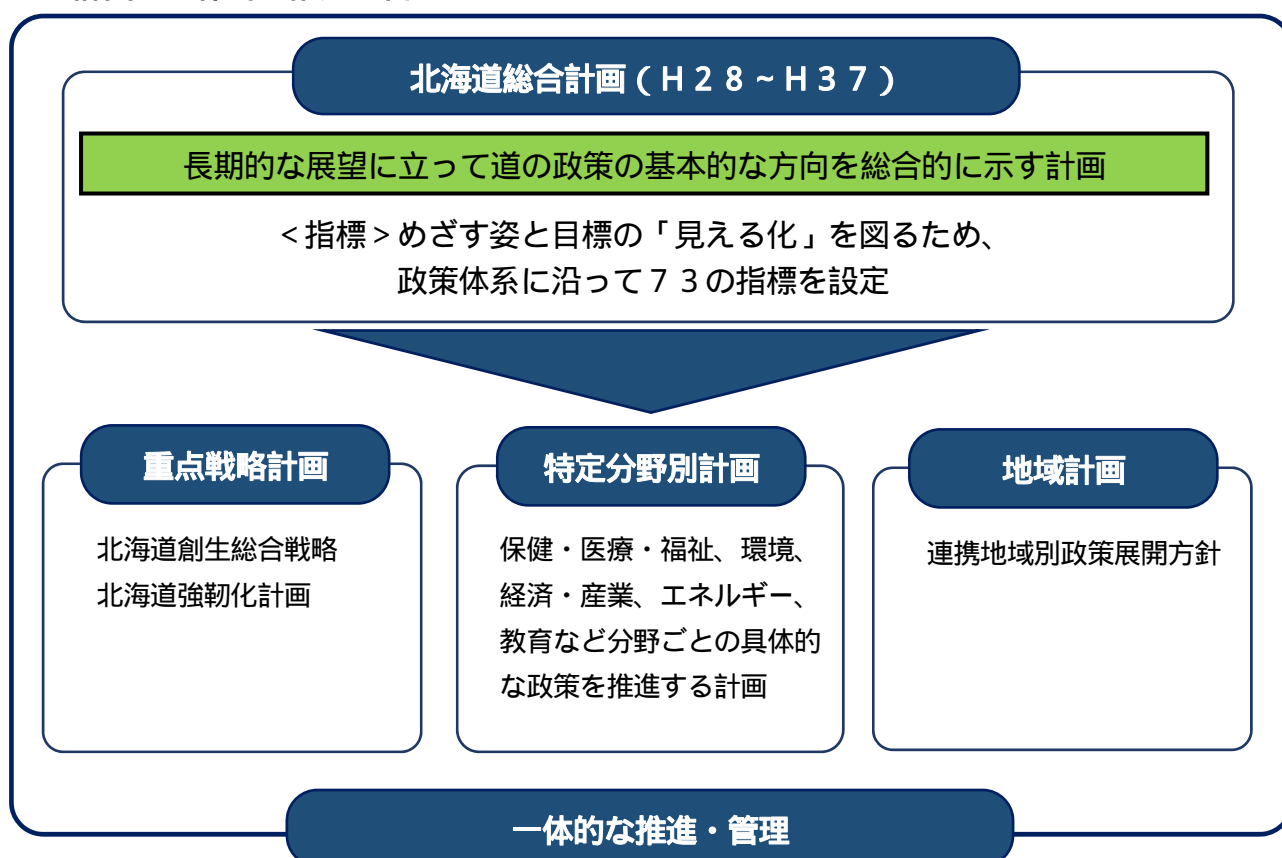
【基本的な考え方】

北海道総合計画は、長期的な展望に立って、道の政策の基本的な方向を総合的に示すものであり、個別具体的な施策・事業については、総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って策定する特定分野別計画などに委ね、一体で推進することにより、実効性を確保することとしている。

このため、総合計画で設定している指標については、特定分野別計画などの指標と整合を図る必要があることから、特定分野別計画の改定等に当たっては、関係部局と事前に協議し、協議が整ったものについて、指標の目標値を変更することとする。

なお、変更の時期は、特定分野別計画の改定等と同時とする。

< 計画の一体的な推進・管理 >



北海道総合計画指標の目標値の変更について

平成30年1月30日現在

番号	指標項目	現状値		目標値				目標値の変更理由	変更時期
		数値など	年(度) (H:年度、 h:暦年)	変更前		変更後			
				数値など	年(度) (H:年度、 h:暦年)	数値など	年(度) (H:年度、 h:暦年)		
10	エゾシカ個体数指数 (西部)	224	H26	200以下	H37	150～75	H37	「北海道エゾシカ管理計画」の改定(平成29年3月)にあたり、これまでのデータ蓄積を踏まえて個体数指数の見直しを行ったため。	平成29年3月
11	温室効果ガス排出量	7,306万t -CO2 〔目標値の変更 と同じ理由で 以下の数値に 変更 7,152万t -CO2〕	H24	5,919万t -CO2 以下	H37	6,054万t -CO2 以下	H37	温室効果ガス排出量の「現状値」及び「目標値」の算定に使用した国の統計(「都道府県別エネルギー消費統計」)の作成方法が改訂(平成28年12月)されたことに伴い、統計数値が1990年度(平成2年度)まで遡って改訂されたため。	平成28年12月
26	道産木材の利用量	400万m ³	H25	520万m ³	H37	509万m ³	H37	「北海道森林づくり計画」の改定(平成29年3月)にあたり、「道産木材の利用量」の算出に必要な「伐採数量」及び「林地未利用材の発生率」を最新の数値に更新したため。	平成29年3月
27	林業の新規参入者数	107人	H25	毎年 150人	H37	毎年 160人	H37	「北海道森林づくり計画」の改定(平成29年3月)にあたり、これまでの実績等を踏まえて、新たに確保すべき新規参入者数の見直しを行ったため。	平成29年3月
32	公益財団法人北海道 中小企業総合支援 センターの相談件数	8,145件	H26	10,000件	H37	12,000件	H37	平成28年度の実績値見込みが10,600件(平成29年5月時点)で、目標値を達成する見込みであるため、近年の相談件数の状況等を踏まえ変更。	平成29年6月

番号は北海道総合計画で掲載している「指標一覧」における番号
「現状値」は北海道総合計画策定時点での最新の統計数値